

ToMMo NEWS LETTER

個人の遺伝情報から今後の健康状態を予測する精度が上がってきた今、保険制度は岐路に差し掛かっています。遺伝情報で保険加入などでの差別の怖れがあり、安心して検査を受けられず、有効な利活用も進まない、ということから、遺伝子差別を禁止する法律の制定を探る動きがあります。一方、加入者側だけが遺伝情報に基づく予測が可能な非対称性が生じれば、保険制度を揺るがしかねない面があります。今号で紹介するワークショップなど、ToMMoでも慎重な議論を始めています。

vol. **35**

TOPICS



JAXA古川 聡宇宙飛行士 ToMMoを訪問

2022年7月5日(火)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の古川 聡宇宙飛行士がToMMoを訪問されました。ToMMoとJAXAは、2019年に連携協定を締結しヒト・マウス統合データベースibSLS(宇宙生命科学統合バイオバンク、Integrated Biobank for Space Life Science)の構築などを進めています。両機構の連携を更に発展させる取組の中で、今回のご訪問が実現しました。

ご訪問の中で、「宇宙滞在時の医学的課題」と題して、宇宙滞在中の無重力や宇宙放射線などによる医学的な影響、それに対するこれまでの取組、今後解決が必要な課題についてお話を伺いました。講演には、ToMMoの研究者が多数参加し、議論が行われました。また山本機構長から当機構の概要説明を行い、ToMMoの施設を視察いただきました。古川宇宙飛行士は、複合バイオバンクをはじめとするToMMoが構築してきたシステムに対して、高い関心を寄せていました。

写真：古川宇宙飛行士(右から4人目)を囲んで(一時的にマスクを外して撮影)

アクサ生命とワークショップ・ 公開講座を開催

2022年8月8日(月)～9日(火)、東北大学星陵キャンパスで東北大学知の創出センター×アクサ協働プログラム「個別化ヘルスケアを作るビッグデータ～コホート・バイオバンクの利活用」が開催されました。プログラムは、大学院生を中心に20名程度が参加した1日半に及ぶスチューデントワークショップと、50名余りが参加した公開講座で構成されました。ワークショップは、理化学研究所生命医学研究センターの清田 純先生による講演から始まり、参加者を3つのグループに分けたディスカッションが行われた結果、9日の公開講座内で研究・医療・保険、そして社会をつなぐ新規性の高い様々な提案がされ、会場を沸かせていました。ToMMoでは多様な業種の方々と連携して、個別化ヘルスケアを実現する道のりを多角的に検討していきます。

2022.07.07

INGEM&ToMMoセミナーシリーズで 慶應義塾大学 末松 誠教授が講演

2022年7月7日(木)に、慶應義塾大学医学部教授の末松 誠先生(東北大学客員教授)をお迎えし「データシェアリングによる医療課題の克服と課題～新型コロナからの教訓～」をテーマに講演いただきました。講演では主に、日本医療研究開発機構(AMED)初代理事長就任にあたり尽力された医療ビッグデータの集積方法やその取組や、新型コロナウイルスの変遷から得られた課題について話されました。専門分野や国境を越えたデータシェアリングが重要であり、ToMMoの研究者に一層頑張ってもらいたいというお言葉も頂戴しました。



2022.07.08-09

第7回クリニカルバイオバンク学会 シンポジウムに出展

2022年7月8日(金)～9(土)、岡山で開催された「第7回クリニカルバイオバンク学会シンポジウム」にブース出展を行いました。出展では、日本全国の9機関14のバイオバンクが構成する

「バイオバンク・ネットワーク」として、多様な出展と利活用相談を行いました。同学会シンポジウムでは、バイオバンク・ネットワークに参画するバイオバンクのうち、12のバイオバンクとナショナルセンター・バイオバンクネットワーク(6NC)のポスター発表や、利活用相談会も行われました。特に、バイオバンクを運営する側同士での情報交換が大きく進む機会となりました。



2022.08.02

第6回 医薬品開発研究センター シンポジウムを開催



2022年8月2日(火)、東北大学薬学部・薬学研究科 医薬品開発研究センター(RCPD)、ToMMoが参画する未来型医療創成センター(INGEM)および東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラムの共催で、第6回 医薬品開発研究センターシンポジウムをハイブリッドで

開催しました。本シンポジウムは、「先導する解析力」というテーマのもと、筑波大学の広川 貴次教授による特別講演「標的タンパク質構造に基づくインシリコ分子標的創薬」をはじめ最先端の解析技術を活用して業績を挙げている5人の研究者からの講演がありました。学内や企業から90名を超える参加者があり、活発な質疑応答がなされました。

2022.08.09

妊娠中の喫煙が妊娠高血圧症候群の リスクを高めることを明らかに

国立成育医療研究センターの森崎 菜穂 社会医学研究部長、ToMMoの栗山 進一教授らのグループは、28,219名の妊婦の情報を用いて、妊娠中期以降も喫煙を続けると、非喫煙者と比べて妊娠高血圧症候群のリスクが約1.2倍高くなる可能性を示し、国際的な学術誌 *Journal of Epidemiology* に論文が掲載されました。本研究成果は、2022年2月に立ち上げられた全国出生コホートコンソーシアム [Japan Birth Cohort Consortium (JBiCC)] によるものです。欧米を中心としたこれまでの研究では、喫煙は妊娠高血圧症候群のリスクを下げることで繰り返し報告されており、なぜ日本人では喫煙の影響が異なるのか、遺伝的背景の違いなども含めて、今後メカニズムの解明が期待されます。

Association between smoking and hypertension in pregnancy among Japanese women: a meta-analysis of birth cohort studies in the Japan Birth Cohort Consortium (JBiCC) and JECS. Morisaki N, et al. *Journal of Epidemiology* (2022)

EDITOR'S NOTE

今夏、東北地方そして全国各地で大雨の被害が多数発生しました。被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。11年前の東日本大震災の健康被害からの回復過程をおってきたToMMoのコホート調査ですが、その期間に、度重なる水害や大きな地震、新型コロナウイルスの感染拡大など、人々の心身の健康に影響を及ぼすような事象がたくさん生じています。災害などの被害から、どうしたら回復していくことができるのか、きちんと知見を積み上げていきたいと思っております。(F.N)

本紙の詳細はウェブをご覧ください
▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/news



メールマガジン「ToMMo News Mail」配信中
▶ forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA



「地域とToMMoに基金」のご案内
▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/kikin



ToMMo NEWS LETTER Date of publication Sep, 2022

Published Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization Editor in chief Fuji Nagami
TEL 022-717-8078 E-mail tommo@pr.megabank.tohoku.ac.jp URL www.megabank.tohoku.ac.jp

Designer Miho Kuriki
© Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization